

# 2019年の校区社協の活動から

## 「安心、安全」な「福祉のまちづくり」を目指そう

### 第43回定期総会

平成30年4月29日(日)午後1時30分から、明和福祉館で、各町内会長、同福祉部長、民生委員児童委員、校区あいこ会長ら、福祉推進員38名が出席して、開催されました。

来賓として鹿児島市社会福祉協議会の池田和弘課長のご臨席をいただきました。

明和西町内会の今泉三也町内会長が議長に選出され、議事に入り、前年度の活動経過報告、決算および会計監査報告、統いて新年度活動方針と予算が審議に付され、いずれも原案通り承認されました。

本年度の重点目標は、昨年度に引き続き、『めいわ安心ネット』のさらなる拡充を最重点課題と位置づけ、①町内会が中心になり、民児協、福祉館がサポートして活動を推進する。②要援助対象者(世帯)の全員を見守る体制を構築するために、福祉ボランティアを募集する。③校区内を業務上巡回される郵便や新聞配達員、牛乳配達員などの協力を得て、非常時の通報、連絡体制づくりを進めていくことなどが決議されました。

新年度活動方針での主な決議事項は次の通りです。  
①福祉の集いおよび福祉相談会の当日の運営担当者を各町内会より1名選出して当日の運営に係わってもらう。②介護講習会は明和校区全体で実施する。

### 第43回明和校区社協定期総会



定期総会の市社協池田課長のあいさつ

### 明和まちづくり協議会の 総会開催される

平成30年5月20日(日)午後1時30分から明和小学校コミュニティルームで明和まちづくり協議会総会が開催されました。

明和まちづくり協議会も4年目を迎える平成29年度より平成33年度までの5年間のまちづくり目標・計画プランの2年目がスタートしました。明和まちづくり協

議会伊地知紘徳会長の挨拶の後議長を選出して平成29年度事業報告、及び収支決算報告、並びに平成30年度事業計画案及び予算案等が審議され全ての議案が提案通り全会一致で可決されました。

今後は、明和校区で行う事業及び行事は明和まちづくり協議会のもと各専門部会が担当して行うことになりますので、地域住民の方も明和校区の事業及び行事には町内会を通じて積極的に参加して下さい。



明和まちづくり協議会の総会

### 福祉ネットワーク推進委員会の開催

平成30年6月16日(土)午後1時30分から午後3時30分まで、明和校区各町内会長、明和地区民生委員児童委員、各関係機関代表者(明和校区福祉推進委員)及び、市社協地域福祉支援員等36名が参加して「めいわ安心ネット」事業の推進について、②「命の安心カード」「携帯用安心カード」について、③避難行動要支援者避難支援等制度についてのテーマで、それぞれ問題点、疑問点、質問事項等活発な意見交換がされ、有意義な話し合いができました。具体的な推進策として町内会を中心に民生委員児童委員と連携し進めて行くことになりました。

又、本日のテーマ毎の問題点については明和校区社協員会で協議して進めていくことになりました。



福祉ネットワーク推進委員会

### 介護講習会

平成30年7月21日(土)午後13時30分から午後15時30分まで、明和福祉館で住民の方等56名が参加して、開催されました。鹿児島県介護福祉士会の介護福祉士福島勝子さんが高齢者に多い病気と生活上の留意点として、生活習慣病(成人病)等の講話と実技について分かり易く説明されました。

介護予防と健康生活では糖尿病、高血圧、指質異常症(高脂血症)、心臓病、動脈硬化、脳血管障害、等に付いても説明されました。

又、実技体験での服の着替えは「脱健着患」の手順でするとよいこと等を学びました。



介護講習会

### ボランティア活動研修会

平成30年9月15日(土)午後1時30分から午後3時まで、心をつなぐともしひグループの会員、めいわ安心ネットのネット員、避難行動要支援者避難支援制度の支援員、民生委員児童委員、町内会長、同福祉部長、明和校区社協員、明和福祉館職員ら49名が出席して、明和福祉館で開催されました。

テーマは「架空請求や訪問販売などの悪徳商法の被害にあわない」と題して鹿児島市消費生活相談センター消費生活相談員の高山眞知子さんの講話・紙芝居・参加者による寸劇・スライドによる説明を契約から特殊詐欺トラブル・契約トラブルの事例・クーリングオフの説明など細かく説明されました。

架空請求詐欺やうそ電話詐欺等の被害は増加傾向にあります。「身に覚えのない勧誘の電話が来たり・封書が届いたり、電話でお金を請求されたり、ATMにいつてください、お金をお受け取りに行きますなどと言われたり、電子マネーを求められたり、」した時はまず詐欺を疑って一人で判断せず、家族や警察に相談して下さい。自分の財産は自分で守り犯罪のない安心・安全な明和のまちづくりに心掛けましょう。



ボランティア活動講習会

### 福祉の集い

平成30年10月27日(土)午前10時から午後12時20分まで、明和福祉館で、ひとり暮らしの高齢者(70歳以上)と障がいの方、民生児童委員、校区社協員、町内会長、福祉館職員等計78名が参加して福祉の集いが開催されました。

プログラムの一つ目は、西部保健センター健康推進係中村舞氏「高齢者がいつまでも元気に暮らすために知っておきたいこと」をテーマに講話されました。

明和地区は城西地域の中では高齢化率も35.98%と高く高齢化が進んでいます。平均寿命と健康寿命の差が男性で8.1年、女性で11.8年であると資料で説明されました。健康寿命を伸ばすには運動をする、昼寝は程々に睡眠を充分にとる、外出して人と話をする等を日々心がけることです。

又、多くの高齢者と介護する人は、自宅(地域)での介護を望んでいます、介護を支える家族は高齢化して、高齢化により疾病や住まい、生活面でも問題も増加しています。今後、急速に高齢化が進み、一人の働き手が一人の高齢者を支えるという厳しい社会が訪れます。高齢者や家族の希望を叶えるには明和のみんなで支えあう仕組みを構築する必要があります。「地域包括ケアシステム」です。明和のみんなが安心・安全に住みやすい環境をつくるために各団体・個人それぞれ知恵を出し、汗をかいて協力し、地域包括ケアシステムを構築しましょう。

二つのプログラムは浜田義光さんの三味線演奏で「奄美民謡と懐メロを楽しもう」をテーマに参加者全員で合唱し楽しい時間を過ごしました。最初4曲は浜田さんの三味線演奏と崎向さんの歌声で奄美民謡をされました。その後参加者も懐メロ・童謡を合唱して最後はおはら節を会場で踊りました。

お楽しみ交流会終了後、皆さんと一緒に「ふれあい会食」をしながら歓談しました。



福祉の集いの講話



福祉の集いのお楽しみ交流会